

新井洗 藝師、歌人。明治十六年十月九日東京生れ、大正十四年十月二十一日歿（一八三二—一九二五）。本名幸太郎。筆名あきら、新井洗太郎、新井生、新井雨泉、洗、洗太郎、慈庵、雨泉、KA、K、A、等。東京府尋常中學校在學中法佐木信綱に入門。あきら藤島武一、岸清紅葉に師事。こゝ洋書家、小説家をもつと、のち歌誌「心の花」に據り作歌に専心。帝國水難救濟會勤務。

著書、歌集「あきら」の口（新井雨泉著、合著・佐々木信綱選、明治三十九年八月）、「千八百修文館」、同「玉琴」の口（同、合著・佐々木信綱選、明治四十一年四月十五日春陽堂）、「法藤秀信歌集」の口（新井洗太郎著、撰、明治四十四年六月十五日梅辻五郎編輯、竹村會出版部）、「微明」の口（大正五年十月）、「千八百竹村會出版部」の口「心の花叢書」の口、新井洗歌集」の口（昭和六年十一月十五日竹村會出版部）の口「心の花叢書」の口等。